

章・単元	学習活動	学習活動における評価規準			評価資料
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
ガイダンス的内容	・技術分野の学習について。 ・技術の発達による生活や産業の変化。 ・3学年間の学習内容を確認し、技術分野の学習を生かして、3年後にできるようになっていたいこと。	・身の回りの製品に生かされている技術について理解している。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	ノート レポート ワークシート 定期考査 実技課題 製作物 課題への取り組み
〈A 材料と加工の技術〉 （１）材料と加工の技術の原理・法則と仕組み （２）材料と加工の技術による問題解決 （３）社会の発展と材料と加工の技術	・材料の特徴、木材の特徴。 ・設計・製図、作業計画。 ・簡単な木工製作品。 ・オリジナル木製家具。 ・部品の検査方法、組み立て。 ・身近な生活や学校などで、材料と加工の技術によって解決できる問題。 ・発見した問題を解決するための課題を設定。 ・材料と加工の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法。 ・製作に必要な図を基に、部品表、材料取り図を作成。 ・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較。 ・持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について。	・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・木材、金属など素材の特性と特性を生かした利用方法について理解している。 ・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 ・工具や機器を適切に選択し、安全に配慮しながら、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。 ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。 ・製作に必要な図の描き方を理解している。 ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。 ・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 ・材料と加工の技術の概念について理解している。	・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 ・材料と加工の技術の最適化について考えている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 ・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性の視点から折り合いをつけながら考えている。	・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。	
〈D 情報に関する技術〉 （１）情報の技術の原理・法則と仕組み	・生活や社会、産業のさまざまな場面でコンピュータなどの情報の技術。 ・コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについて。 ・コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを知る。 ・情報のデジタル化の方法と画像をデジタル化する方法やデータ量との関係。 ・情報通信ネットワークの仕組み。 ・情報通信ネットワークを使って、情報をやりとりする仕組み。 ・情報の特性について考え、情報が社会に与える影響。 ・サイバーセキュリティの重要性。 ・セキュリティ対策のためのソフトウェアやシステム。 ・情報の技術に込められた問題解決の工夫について。 ・身近なシステムや自動化の技術の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について。	・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。 ・情報通信ネットワークの構成について理解している。 ・情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。 ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。 ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 ・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。	・情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・身近なシステムや自動化の技術に込められた問題解決の工夫について、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性の視点から折り合いをつけながら説明している。	・主体的に情報の技術について考えようとしている。 ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。 ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。 ・生活や社会における情報の技術を具体的に挙げ、主体的に情報の技術について「技術の見方・考え方」と結び付けて考えようとしている。 ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応する力を身に付け、生活の中で実践しようとしている。	